

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	病理学概論			担当教員	吉田 麻吏		
授業の方法	講 義			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	あはき臨床を行う上で必要な病態生理学に関する基礎知識として、疾病の原因、成り立ち、経過、転帰に対する形態的および機能的変化について学ぶ。						
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 2. 疾病の成り立ちと構造・機能の異常 3. 人体に影響を及ぼす諸因子(物理的、化学的、生物的)						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章:病理学とは 第2章:疾病についての基本的な考え方 第3章:病因		1	復習 第7章:炎症 1.炎症の一般		
	2	第3章 病因/内因		2	第7章:炎症 2.炎症の分類		
	3	第3章 病因/内因		3	第7章:炎症 2.炎症の分類		
	4	第4章:循環障害 2.充血・うっ血 3.貧血・虚血		4	第8章:腫瘍 1.腫瘍の一般		
	5	第4章:循環障害 4.出血 5.血栓症 6.塞栓症		5	第8章:腫瘍 1.腫瘍の一般		
	6	第4章:循環障害 2.充血・うっ血 3.貧血・虚血		6	第8章:腫瘍 1.腫瘍の一般		
	7	第4章:循環障害 7.梗塞 8.水腫・浮腫・脱水症 9.ショック		7	第8章:腫瘍 2.良性腫瘍、3.悪性腫瘍		
	8	復習		8	復習		
	9	第5章:退行性変性 1.萎縮 2.変性		9	第9章:免疫異常・アレルギー 1.液性免疫と細胞性免疫		
	10	第5章:退行性変性 2.変性		10	第9章:免疫異常・アレルギー 2.アレルギー		
	11	第5章:退行性変性 2.変性 3.壊死と死		11	第9章:免疫異常・アレルギー 3.免疫不全、 4.自己免疫疾患		
	12	第6章:進行性変性 1.肥大と増殖 2.再生		12	第9章:免疫異常・アレルギー 4.自己免疫疾患 第10章:先天性異常 1.先天性異常総論、2.遺伝性疾患		
	13	第6章 進行性変性 3.化生 4.移植、5.創傷治癒		13	第10章:先天性異常 代謝異常と染色体異常		
	14	復習		14	復習		
15	期末対策		15	期末対策			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	小テスト 20%、期末テスト 80% の割合で評価します。			実務経験	教員歴5年		
履修上の注意	授業・テストの内容をよく復習すること。			授業時間外の学習	解剖学・生理学の復習を行うこと。		
使用教材	東洋療法学校協会「病理学概論」			連絡先	質問または相談があるときは職員室を訪ねてください。		